

古文書解読にチャレンジ！ その1 解答

【筆耕】（くずし字の書きおこし）

- 一 諸浪人・売僧・瞽女・座頭・物貰の類、止宿者
勿論、合力杯ねたり候共、一切差出申間敷候、
強而相募候ハ、為郷中捕置、其筋江
訴出可申事、

【読み下し】（筆耕を読み言葉にしたもの）

- 一 諸浪人・売僧・瞽女・座頭・物貰の類、止宿は
勿論、合力杯ねたり候共、一切差出し申す間敷候、
強て相募り候はば、郷中なし捕え置、其筋へ
訴え出申すべき事、

【現代語訳】

- 一 諸浪人・売僧・瞽女・座頭・物貰いなどから、宿泊はもちろん、金品の協力などを依頼されても、一切協力しないこと。強引に協力を募った場合には、地域のものどもで捕え置いて、役所などへ訴え出るようにすること。

この文字に注目

「貝」 ① 貝 ② 貝

貝を草書体で記すと①のようになりますが、くずしが強くなると左側の縦線と中央の横線二本が省略され②のように書かれます。

今回の文書にはこれらを部首に含む漢字が登場していました。

「賣」（売の旧字） 「貰」 「賃」

また、「貝」の上に一本線を足した「頁」は次の③、④、⑤のようにくずされます。

③ 頁 ④ 頁 ⑤ 頁

こちらも、今回の文書で部首とする漢字がありました。

「頭」 「類」

ほんの一部ですが、くずし字の読み方のヒントをご紹介します。興味がおありの方は『東村山市史研究』二十五〜二十七号掲載の「史料紹介」にも文書資料を紹介しておりますのでご覧ください。

また、当館では「古文書講座入門編」等講座も開講しております。詳しくは職員（寺西、今村）までお尋ねください。